



## 2010年「地域発：がん対策市民協働プログラム」

### 選考講評

2010年1月8日

特定非営利活動法人 日本医療政策機構

市民医療協議会 がん政策情報センター

地域発：がん対策市民協働プログラム事務局

#### ■概要

「地域発：がん対策市民協働プログラム」は、現在進行中の国のがん対策推進基本計画と都道府県のがん対策推進計画の趣旨に合わせ、がんによる死亡を3年間で3万人減らすことを目的として、2009年8月より始動しました。

このほど2年目（2010年1月～12月）の対象プロジェクトが選定されました。本プログラムは主に、(1)がん診療の質の向上 (2)がんの早期発見 (3)がんの予防、の3つの観点で行われる取り組みを募集し、各地の優れた取り組みに対して、がん政策情報センターが資金面で支援を行います。それだけではなく、事務や広報の補助などの協働により、地域内での横断的な連携の発展を促進します。

本プロジェクトは、県庁や地域のがん診療連携拠点病院など、他のステークホルダーも巻き込みながら、成果が出はじめている段階です。2年目を迎えるにあたり、今後は、各地域のプロジェクトが本格的な活動の段階に進んでいくことになります。好事例として全国に普及するモデルが形成されることを期待しています。

#### ■選考方法

選考は、外部有識者と事務局からなる選考委員会によって行われました。

まず、各委員が個別評価（目標、必要性、活動の内容、体制など計9項目）と総合評価（斬新性、成長可能性）による仮採点を行いました。その採点結果をもとに、11月29日に選考会を開催しました。選考会では、各委員の採点理由を確認しつつ、各プロジェクトが当プログラムの趣旨と合致しているかを慎重に議論し、選定を行い、最終候補を決定しました。最終候補となったプロジェクトには、応募内容について聞き取り調査を行い、最終的な採択を決定しました。

公募期間：2009年10月6日～11月2日

助成期間：2010年1月1日～12月31日

応募総数：35件（新規\*1：24件、継続\*2：11件）

採択件数：8件（新規4件、継続4件）

\*1：2010年1月より開始

\*2：2009年8月より開始し、2010年も継続するプロジェクト



## ■選考委員

(◎：委員長、五十音順、敬称略)

天野 慎介	(日本医療政策機構 市民医療協議会 がん政策情報センター)
隈本 邦彦	(江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 マス・コミュニケーション学科 教授)
祖父江 友孝	(国立がんセンター がん対策情報センター がん情報・統計部 部長)
◎信友 浩一	(九州大学 医学研究基礎医学部門 医療システム学教室 教授)
萩原 なつ子	(立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 教授)
埴岡 健一	(日本医療政策機構 市民医療協議会 がん政策情報センター センター長)
前田 光哉	(厚生労働省 健康局 総務課 がん対策推進室 前室長)
宮内 泰介	(北海道大学大学院 文学研究科 地域システム科学講座 教授)

## ■選考講評

「地域発：がん対策市民協働プログラム」

審査委員長 信友浩一

### 【全体評】

2年目も創意工夫にあふれ、意義が高いと思われる応募が多数含まれており、いずれも地域のがん対策のために熱心に活動してきた患者・市民の、経験と意欲に満ちた取り組みでした。そのため、選考会では、長時間の議論が交わされました。

当プログラムの趣旨と、優先課題に合致した取り組みが、協働事業として採択されました。また、予防、早期発見、治療の均てん化といった従来の3分野とは異なりますが、「就労支援プロジェクト」は、必要性の高いテーマであるとして評価されました。

1年目から2年目へ継続されるプロジェクトの選考に関しましては、モデル的な活動として全国への波及効果が大きいかどうかを特に重視し、選考しました。

今後は、1、2年目に採択された合計16のプロジェクト同士が情報交換をし、刺激を与えあい、切磋琢磨することにより、お互いを高め、さらなる発展をしていってほしいと思います。

### 【個別評】

#### <新規採択 本プロジェクト2件>

[プロジェクト名]:「愛知発：ピアサポートプロジェクト」(対象地域:愛知県)

[代表者] 寺田 佐代子 さん (特定非営利活動法人 ピアサポートわかば会 理事長)

花井 美紀 さん (特定非営利活動法人 ミーネット 理事長)

同じ愛知県から応募のあった2件、「がん患者支援プログラムの普及と展開」と「がん診療時からのピアサポート・モデル事業」を、統合して1件のプロジェクト「愛知発：ピアサポートプロジェクト」として採択しました。前者は、がん患者支援に関わる多くの人に、患者さんへの心の支援に関するスキルアップトレーニングを実施します。後者は、がん治療体験者が、新たにがんと診断された人たちに情報支援をするために、がん種別にサポートスキルを身につけます。これら2つの支援は、どちらも方法がかなり定まっておき、一定の実績もあります。2つのトレーニングを受けた人は、医療提供者と共に患者を支えることができるようになりますと期待されます。

[プロジェクト名]「働き世代のがん患者・体験者に対する就労・雇用支援プロジェクト」

(対象地域：全国)

[代表者] 櫻井 なおみ さん (特定非営利活動法人 HOPEプロジェクト 理事長)

がん体験者の就労・雇用を考え、支援する取り組みです。全国主要都市でフォーラムを開催し、がんに関する誤解や偏見を無くすことを訴えます。同時に支援企業を募ります。また、がん患者には「就労サポート」、企業には「がん患者雇用継続・復職支援ワークブック」、行政には「がん体験者の声を束ねた社会保障制度等の提言書」を提供するなど、対象別に必要な活動を行います。就労支援は、まだ、政策として十分取り上げられていませんが、重要なテーマと考えられます。当プロジェクトは、患者・市民、医療提供者、行政、立法、メディア、及び民間から、多くのステークホルダーを巻き込んだ六位一体型の活動を展開することが、重要といえます。

**<新規採択 ゆりかごプロジェクト2件>**

[プロジェクト名]：「子育て世代の女性特有がん 検診率向上プロジェクト」 (対象地域：静岡県)

[代表者] 原田 博子 さん (特定非営利活動法人 はままつ子育てネットワークぴっぴ)

子育て支援のNPOと、医療提供者が中心となって、子育て世代にがん啓発を行う新しい試みです。「託児つきの乳がん検診」を提供し、子育て世代の女性に検診を受ける必要性を啓発します。また、シンポジウムの開催や、ウェブサイトの公開により、検診に関する医学的な情報を提供します。子育て支援のNPOの実績により、行政や民間との連携も取れており、六位一体型として、高い波及性が期待されます。

[プロジェクト名]「『がんかわら版』出前屋」 (対象地域：沖縄県)

[代表者] 三木 雅貴 さん (沖縄がん患者ゆんたく会 幹事)

沖縄県では、特に離島・へき地では、がんに関する情報が伝わっていないのが現状です。そのため、「かわら版」と呼ぶニュースを発行すると共に、現地を巡回し、がん対策の情報を届けます。実際に会って情報を伝えることで、啓発を促し、一緒に情報を発信する協力者を募ります。離島・へき地対策は、沖縄県ならではの課題であり、まさに地域に密着したプロジェクトといえます。人の手で地道に「かわら版」を届け、均てん化をめざすという昔ながらの方法の効果に期待しています。

**<継続採択 本プロジェクト3件>**

[プロジェクト名]「患者発・宮城版 退院時サポートプロジェクト」 (対象地域：宮城県)

[代表者] 郷内 淳子 さん (婦人科がん患者会「カトレアの森」代表)

初回退院時の患者さん向けに「退院サポートキット」を配布し、病院には「退院支援システム」導入の支援をすることで、退院者・通院者のサポート体制を構築します。当プロジェクトは宮城県のアクションプランに採択され、六位一体となって取り組む方向性が明確になっております。「退院サポートキット」配布後のネットワークを、どのように生かすことができるかが重要であり、がん難民解消の普及モデルとして、今後の計画と展開に注目しています。



[プロジェクト名] 『府民へ届け！大阪ならではのがん情報』～効果的ながん対策の実現と患者・家族・府民の支援をめざして～ (対象地域：大阪府)

[代表者] 濱本 満紀 さん (大阪がん医療の向上をめざす会 渉外担当)

大阪府内のがん情報を、患者さんにわかりやすく整理した「がん情報サイト」を公開します。今までは専門家以外には理解困難な情報でしたが、患者さんのニーズに合う情報として自由に引き出せるようになれば、多くの患者さんにとって納得できるがん医療の実現が期待されます。12月に「がん情報サイト研修会」を開催したところ、実際に試用した患者さんからは、待ち望んでいたとの声もあがっております。当サイトの検索システムが、どこまで患者視点で実現できるかが重要です。

[プロジェクト名] 「高知発、がん患者支援プロジェクト」 (対象地域：高知県)

[代表者] 安岡 佑莉子 さん (特定非営利活動法人 高知がん患者会一喜会 理事長)

患者さんや家族の支援者として、「心のケア支援相談員」「がん情報支援相談員」及び「在宅介護ボランティア」を育成します。これら3つは、特に在宅療養のがん患者が、安心して暮らしていくうえでは必要と考えます。がん患者を支援する人材の養成において、当プロジェクトは「愛知発：ピアサポートプロジェクト」と共通点があります。お互いに交流を持ち、切磋琢磨して発展してほしいと思います。

**<継続採択 ゆりかごプロジェクトから本プロジェクトへの昇格1件>**

[プロジェクト名] 「がん予防検定を用いた地域ぐるみ・がん予防プロジェクト (対象地域：北海道)

[代表者] 谷井 貞夫 さん (特定非営利活動法人 北見 NPO サポートセンター 理事長)

「がん予防検定」によって、がん予防に関する知識を向上させ、喫煙率の低下と、がん検診受診率の倍増を目指すユニークな取り組みです。がん予防検定は、一般の検定試験と異なり、受験者も参加できる双方向型のワークショップです。初回の北見市での検定はテレビ局に全国放送され、参加者の反応も良好でした。今後、受講者への効用と検定問題を詳しく調べることで、さらに効果を高めることも検討します。検定方法を確立し、北海道内各地に展開されることを期待しています。

**■事務局**

- 内田 亮 (日本医療政策機構 市民医療協議会 がん政策情報センター 地域担当)
- 沢口 絵美子 (日本医療政策機構 市民医療協議会 がん政策情報センター 地域担当)
- 乗竹 亮治 (日本医療政策機構 市民医療協議会 企画担当)
- 山口 綾香 (日本医療政策機構 市民医療協議会 がん政策情報センター 地域担当)

(五十音順)

**■本件に関するお問い合わせ先**

(個別プロジェクトに対する取材も受け付けています。ご希望の方は、以下までご連絡ください)

日本医療政策機構 市民医療協議会 がん政策情報センター

広報担当：湯澤

Tel: 03-5614-7796 Fax: 03-5614-7795

E-mail: info@ganseisaku.net